

高梁市 議会 だより

第20号
2014年11月

郷土 資料館

Kyodoshinyokan

9月定例会開催

特集 平成25年度高梁市決算②

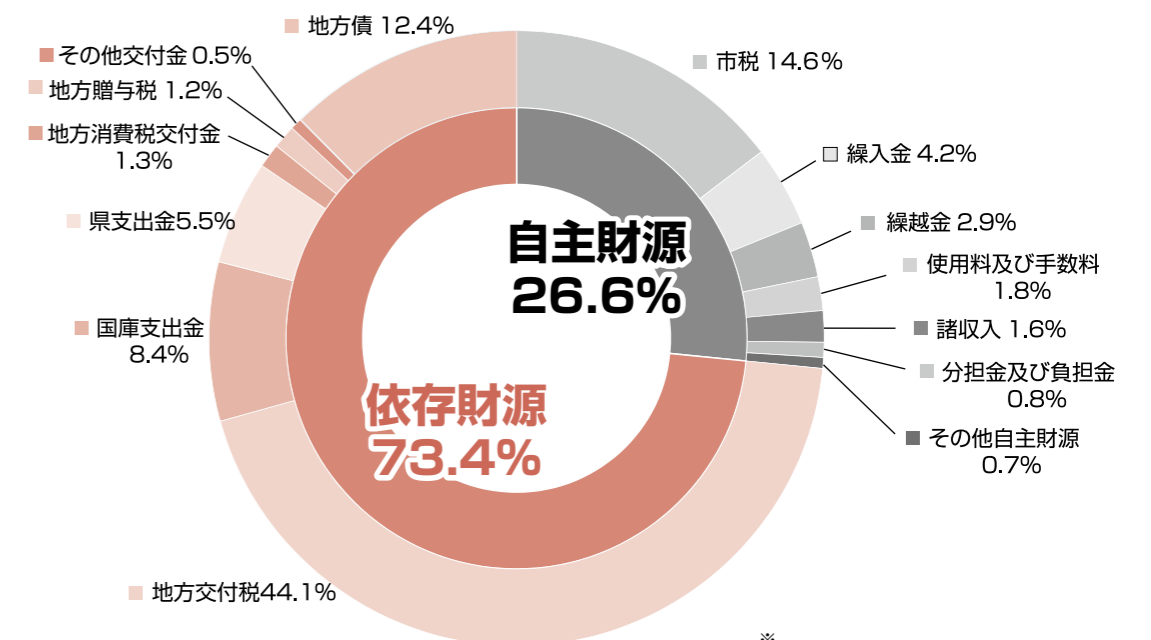
一般質問 ここが聞きたい! ⑥

委員会報告 ⑫

特集 平成25年度高梁市決算

平成25年度歳入は普通会計で257億9,023万8,000円^{*}となり、その内訳は、市が独自に調達できる市税や手数料・使用料・寄附金などの自主財源は26.6%で、国や県などに依存している財源は73.4%となりました。

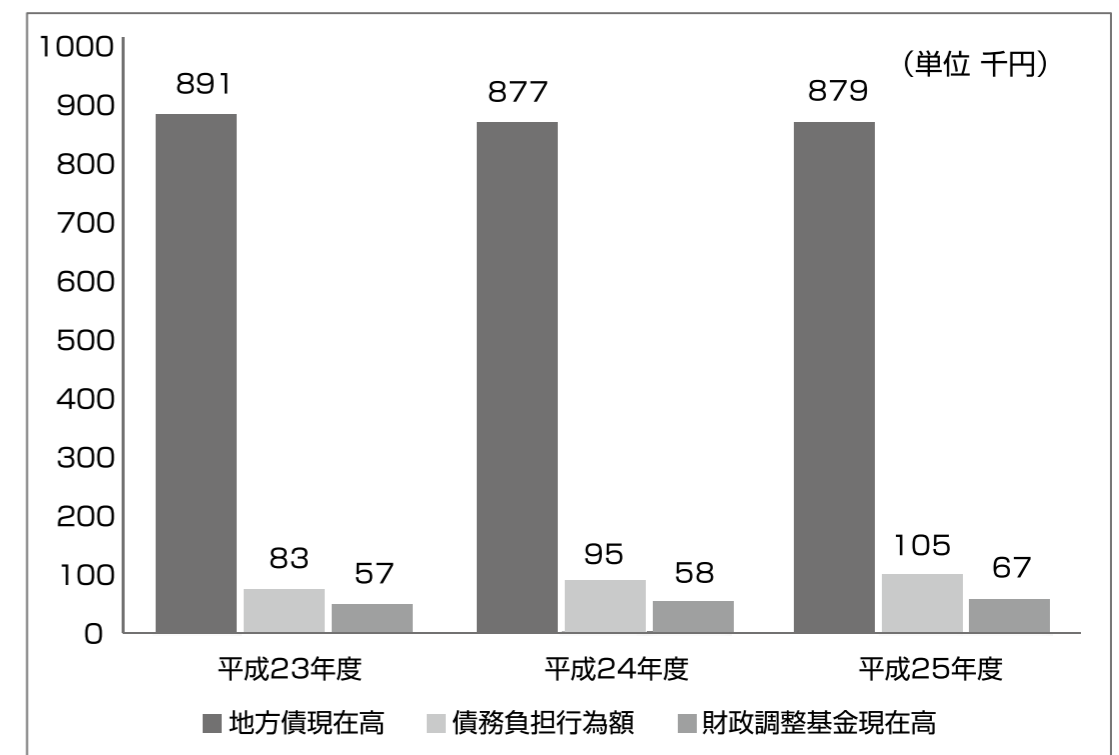
歳入の構造について(普通会計)



歳入総額：257億9,023万8,000円^{*}

普通会計…市の会計区分は一般会計のほか、特定の事業を行うための特別会計、公営企業会計に分かれています。このうち、一般会計と公営事業に属さない特別会計を合わせた会計のことを普通会計といいます。

市民一人あたりの地方債現在高 債務負担行為額・財政調整基金現在高



*千円未満切り捨て



議会費 5,642円
(6,063円)



総務費 142,391円
(104,979円)



民生費 148,841円
(142,928円)



衛生費 63,175円
(72,873円)



農林水産業費
35,355円
(31,960円)

平成25年度歳出は、普通会計で総額248億2,658万2,000円となり、市民一人当たりで換算すると71万82円となりました。

かっこ内は平成24年度の数字で、消防費が大きく減少しているのは、消防無線のデジタル化の事業が終了したためで、災害復旧費が大きく増えたのは、豪雨災害が多かったためです。

なお、人口は平成22年国勢調査人口34,963人としました。



商工費 7,610円
(7,487円)



教育費
72,086円
(62,647円)



労働費
2,611円
(2,380円)



消防費 18,977円
(30,049円)



土木費 71,667円
(61,292円)



災害復旧費 40,596円
(26,152円)



公債費
101,131円
(103,791円)

9月定例会開催

平成26年第6回高梁市議会（定例）は、9月3日から24日までの22日間の会期中、開催されました。

一般質問では、議員11名が29項目にわたって市政について質問しました。

議決結果

市長提出の議案19件のすべてを承認、可決しました。市民団体などからの請願については、1件を採択・1件を不採択としました。さらに、議員発議の議案1件を原案のとおり可決しました。



9月補正予算の概要

- 平成26年高梁市一般会計補正予算（第2号）は、予算額2億1968万2000円で、主な事業は次のとおりです。
- ・ 防犯カメラ設置工事費 60万円（2台分）
 - ・ 防犯カメラ設置補助金200万円（10台分）
 - ・ 施設等除去工事費1140万5000円（川上町しあわせ荘）
 - ・ 野猪防護柵設置事業補助金380万円（追加）
 - ・ 住宅リフォーム事業補助金100

- 0万円（追加）
- ・ 施設等整備工事費3881万1000円（城見橋公園駐車場のトイレなどを改修）
- ・ 道路改良工事費7500万円（10路線）
- ・ 小学校費…設計委託料1023万7000円（小学校クーラー設置の設計費9校）
- ・ 中学校費…設計委託料179万4000円（中学校クーラー設置の設計費3校）
- ・ 文化財等保存整備補助金98万6000円（順正寮の整備補助金）
- ・ スポーツ交流推進補助金630万円（一般社団法人高梁スポーツクラブへの補助金）
- 平成26年高梁市一般会計補正予算（第3号）は、予算額5730万円で、8月に発生した降雨災害への対応と小規模林道（法曾吹屋線）を整備するためのものです。

9月定例会で賛否が分れた議案の議決結果

件名	○賛成 ●反対																			
	石井	石部	石田	黒川	三村	内田	宮田好	森田	大森	長江	柳井	倉野	植田	川上修	宮田公	川上博	大月	妹尾	難波	
平成25年度高梁市各会計歳入歳出決算認定について	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
憲法解釈変更の閣議決定の撤回の意見書を提出するよう求める請願	●	○	●	●	●	●	○	●	●	●	●	○	●	●	●	●	●	●	○	○

◎ 他の議案は全会一致で可決しました。

討論



平成25年度決算

● 25年度決算の総体について、過疎高齢化そして貧困化が進む市民の暮らしを支え、そして合併後の地域間格差の問題解決が必要である。市民生活の向上を優先し、切実な市民要求に積極的に応える市政へ転換していただきたい。

● 順正学園吉備国際大学に対する約1億円の支援金については、一企業に対しての多大な資金投入になっており、市民生活予算とのバランスや、大学の経営状況から見ても偏重した支出になっているので認められない。

● 「ゆ・ら・ら」については、閉鎖されて1年9カ月になるが、今期も500万円を超える税金が注ぎ込まれ、総額では約35億円もの市税を投入したのちに破たんした。一日も早く税金投入をやめるべきとの思いから認められない。

● ハッピーウエディング奨励事業補助金については、市内で結婚披露宴を行った場合に奨励金を支給するという事業である。参加人数の制限をなくしたことは評価するが、結婚して新しい人生や生活を始めるに当たっての祝福であるのならば、式や披露宴のあるなしにかかわらず奨励金を支給し、高梁市に住まれる方への結婚祝い金として制度の充実を図るべきだ。

● 国民健康保険特別会計については、商業、農業の所得が減少し、年金額の削減などでお年寄りの暮らしも大変になり若者もワーキングプアなど非正規雇用や就職難で貧困化が進んでいる現状がある。国保税が払いたくても払えないという現状もある。



平成25年度決算

● 教育費の文化センター費において高梁市文化交流館と高梁総合文化会館は、施設も稼働日数も違うが、委託料が約1120万円とまったく同額であり、昨年の委員会でも指摘された。反対するものではないが一層の改善が図られるべきである。

● 地域振興費について、年度末現在高は約23億5000円となり、毎年1億円程度の取り崩しを行っている。限られた財源であり地域振興にかかわる全般的な課題として、各地域の

事業の見直しや支出額の再検討を進め効率的活用を求める。

一般会計補正予算

● 総務費・地域振興費に防犯カメラの設置費用が計上されている。県警本部からの要請もあったとのこと。安心・安全なまちづくりに寄与する措置と考えるが、その反面、監視社会の強化につながる可能性も感じる。実際の運用については県のガイドラインを適用することではあるが、本市の情報公開条例も含め十分な検討と運用を求める。

請願

● 請願第5号「憲法解釈変更の閣議決定の撤回の意見書を提出するよう求める請願」について、委員会では不採択であるが、憲法で戦争を放棄し、平和外交で国際的信頼を勝ち得てきた中で、今回の憲法解釈の変更は他国との間にあえて緊張関係を作り出すものである。市民の平和な暮らしを守るため採択を求める。

Q. 市の防災体制は

A. 注意報が出た段階で情報収集を行い、警報が出れば警戒態勢を取り、防災・減災に努める



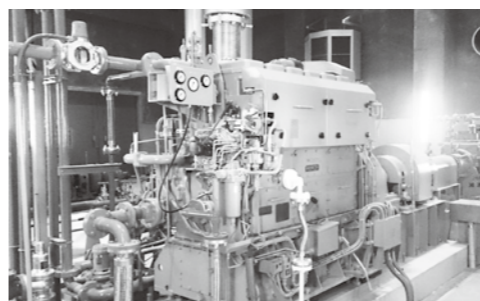
ここを聞きました

- 災害への対応について

宮田 豪雨等による災害発生時の防災体制はどうなっているのか。
総務部長 注意報が出た段階で情報収集を行う体制となり、警報が出た段階で警戒態勢となる。また、災害発生時には、設置基準に基づき災害対策本部を設置し、各地域局や各市民センターも含め全市で対応することになっている。

宮田 防災マップによると、中心市街地の約南半分が浸水の可能性があるとしている。この要因と対策はどのようなものか。
総務部長 防災マップでは、高梁川の堤防が決壊した場合を想定して浸水予想を記載している。

市長 市街地の排水対策として中原浜雨水幹線の能力を、時間雨量53ミリから73・8ミリに引き上げる計画



高梁雨水ポンプ場内部。排水能力:411t/分
1号ポンプ(33t) 2号,3号ポンプ(189t)

を予定している。なお、昭和50年以降では55ミリという降雨を一度記録している。
宮田 多くの自治体が災害救助犬派遣協定を結んでいる。本市も検討すべきではないか。
総務部長 すでに研究を始めており、前向きに考えていきたい。

Q. 「ゆ・ら・ら」売却国への返還金は幾らか?

A. 7,000万円程度を見込んでいる



ここを聞きました

- 人口減少と行財政改革について
- 地域医療について
- 朝霧温泉「ゆ・ら・ら」について
- 図書館建設と複合施設について

朝霧温泉「ゆ・ら・ら」について
宮田 行政財産から普通財産に変更することにより、国への返還金は幾らとなるのか。
政策監 平成21・22年度に修繕等を行うため国の経済対策交付金を約8900万円活用している。返還額は約7000万円程度を見込んでいる。



政策監 活用用途については、幅広い提案をいただくために特に制限を設けませんが、公序良俗に反するものには使用制限を行う。

宮田 売却を含めて公募をかけるが、基準をどう考えているのか。

Q. 産前産後の妊産婦の支援を充実させるべきではないか

A. 要望を把握し、新施策導入を検討する



ここを聞きました

- 産前産後のサポートの充実
- 子どもを育てやすい環境整備
- 介護支援ボランティアポイント制度

められているか聞き取りをしている。その結果を踏まえて前向きに検討していきたい。

産前産後のサポートの充実を
川上 昨年の12月をもって市内で分娩できる施設がなくなった。産科医師の誘致や分娩施設の設置は非常に困難であることは承知している。厳しくとも産科医師の誘致等は引き続き努力していただきたいが、当面の間は市としてでき得る施策を実施すべきではないか。

また、相談員の配置、妊婦健診交通費助成と出産準備宿泊費助成、子育て支援ヘルパーの派遣、産後うつへの支援を行うべきだ。

健康福祉部長 本年度から顔写真入りの地区担当保健師の紹介カードを妊産婦に渡し、不安などがあればいつでも電話相談や家庭訪問の対応ができるようにしている。また、昨年暮れから出産された方にどのようなことを市に求



Q. 高梁中央図書館は教育委員会の直営で行うべきではないか

A. 民間委託を前向きに検討している



ここを聞きました

- 高梁中央図書館は教育委員会の直営で行うべきではないか
- 福地小学校の統廃合は地元合意をもって行うこと
- 新市発足10年と総合計画後期基本計画について

石部 図書館のサービス向上、コスト削減、情報発信は直営では不可能なのか。
教育次長 民間の自由な発想による運営が可能であり、民間委託を検討する価値があると判断した。

石部 図書館建設策定委員会、ワークショップ、アンケートで出された意見や要望の集約はどうか。
教育次長 その都度取りまとめを行い、新図書館の参考としている。

石部 民間委託で、中央図書館としての機能を持たせられるのか。
教育次長 十分期待できると考える。

石部 「直営」と「委託」での運営費の違いは人件費のみであるが、図書館司書は15人必要なのか7人でよいのか。

教育次長 突き詰めて認知していない。
石部 予算根拠が崩れてしまう。

石部 CCC委託では生涯学習や地域との連携、市民参加・人材育成などが行えないのではないかと。
教育次長 その一部をお願いし、相互に連携して担っていくことが考えられる。

石部 にぎわいの図書館が新市にふさわしい図書館なのか。
教育次長 現在、図書館で行っていることはできる。CCCに委託しても生涯学習の拠点になりうる。

石部 駅前のにぎわいのための図書館ではなく、市民のにぎわいの図書館にしてほしい。
教育次長 CCCとのよりよい関係をもち、市民の望む図書館をつくりたい。

Q. 市民から意見を聞いて他と差別化した高梁らしい図書館を

A. アンケートやワークショップの意見を反映したい



ここを聞きました

石井 聡美

- 駅前複合施設について
- 防災対策について
- 市の広報活動について
- 移住者、転入者への説明について

市民の意見を反映した高梁らしい図書館を

石井 図書館のあり方は歴史とともに変わってきている。ただ流行にのるのではなく、図書館の中に高梁らしさを込めるためにも、住民の意見を聞くべきでは。

教育次長 平成24年12月から、各年代へのアンケート、11回のワークショップを行った。いただいた意見を反映させるよう努力していきたい。

住民が行政に参加しやすい開かれた市政を
石井 今回の質問に徹底しているのは、市の行政に対してもっと市民を参加させてほしいということだ。コミュニティFMも図書館の市民参画も、そして広報紙への市民参加もそのためのものがある。高梁市のような自治体は、今後は市役所に任せておけ

ば何でもやってくれるという意識ではなく、本当の意味で住民が自分たちの町を経営していく住民自治が必要になってくる。そのためにも市役所からも住民に対して色々な形で門戸を広げていただきたい。

市長 これからは行政がしてくれるのを待つ時代ではないと思う。もちろん行政も同じで、高梁から国に対して発信していくことも大事だと思っている。住民が行政に参加していただく手法は多岐にわたっていると思う。それを職員もしっかりと勉強していかなければならない。



Q. 防災マップは上手く機能しているのか

A. 防災意識を高める努力をする



ここを聞きました

三村 靖行

- 自然災害への対応について

防災マップについて

三村 災害に備えて防災マップを作成し全戸配布しているが、うまく活用されているのか。

市長 さまざまな機会を通じて防災意識を高める努力をしていきたい。

三村 市内には土砂災害警戒区域が858カ所あるが、どこが指定し、どう対応しているのか。

産業経済部長 県が現地調査をもとに指定している。

三村 避難場所に多くの公共施設が指定されているが、耐震基準はクリアしているのか。

総務部長 旧耐震基準の施設もあり、地域の実情も踏まえ見直していきたい。

三村 災害対応にも安全センターを活用してはどうか。

市民生活部長 安全センターは福祉施設としてのシステムであり、防災への対応は難しい。

急傾斜地崩壊対策事業について

三村 安全・安心なまちづくりのために急傾斜地崩壊対策事業を取り入れてはどうか。

産業経済部長 市民からの情報提供をもとに県に要望を行っている。

耐震改修促進について

三村 市内にある建物の耐震化率はどのようになっているのか。

産業経済部長 平成25年度末で67%と推定している。

三村 木造住宅等の耐震診断には補助制度があるが普及啓発はどうするのか。

産業経済部長 県や建築士協会と連携し耐震化向上に努めたい。

Q. 市街地における認定子ども園の取り組みを早急に

A. 来年度からできる取り組みを進めたい



ここを聞きました

内田 大治

- 農業施策について
- 子育て支援について

農業施策について

内田 人・農地プランの作成を推進しているが、この制度の必要性についてどう認識しているのか。

産業経済部長 地域農業が抱えている問題を解決する手段の一つとして、プランを作成して地域全体で取り組む必要がある。

内田 この制度への取り組みは旧町の旧村単位でなされているが、現状と今後の推進方法をどうするのか。

産業経済部長 現状は小学区単位で取り組んでいる。平成24年度で3地域。平成25年度で5地域がプランを作成している。平成26年度では10地域が作成をする予定で、全体では18地域が人農地プランを作成する。

内田 第3期中山間地域直接支払

制度は平成26年度末をもって終了するが、平成27年度以降の日本型直接支払制度にはどのように対応するのか。

産業経済部長 9月に国から県へ説明があると確認している。市としても注視している。

内田 市街地の公立幼稚園2園、保育園1園では園児数が偏りが生じている。計画では3園を一体化した認定子ども園を整備するとしているが早期に取り組むべきではないか。

健康福祉部長 国の所管に違いはあるが平成27年度からできる取り組みをしたい。

内田 周辺地域の保育園で公的な送迎をすべきではないか。

市長 さまざまな障害があるが、前向きに検討したい。

Q. ヴィラの活用について市として積極的に考えるべきではないか

A. 観光アクションプランの中で、提案していただければ早急に検討し活用につなげていきたい



ここを聞きました

森田 伸一

- 吹屋国際交流ヴィラの活用について
- 外国人観光客の誘致について
- 「備中高梁元気!プロジェクト」について

吹屋国際交流ヴィラの活用について

森田 岡山県より、平成21年3月末をもって市へ施設移管された吹屋国際交流ヴィラが、現在まで活用されていない。活用について地元団体へ投げかけるだけでなく、市として積極的に考えるべきではないか。

市長 ヴィラが現在まで活用されていないのは残念に思っている。県から施設移管を受けた平成21年3月時点で、地元で使用したいとの意向があり提案を待つこととしていた。現在4地区で組織している観光アクションプランの中でヴィラの活用について提案をいただけると思っている。例えばゲストハウスとしての活用、またこの施設でおもてなしの事業をしてい

ただくというような考えもあると聞いている。ヴィラ施設は建物としても外観と周囲景観が調和している。壊して建物がなくなるのは景観上よくない。提案をいただきたいなら早急に検討し対応したい。

外国人観光客の誘致について

森田 市長は、交流人口の増加により地域を元気にしたいと言われている。その中で外国人観光客の誘致に向けての戦略はあるのか。

産業経済部長 過去3年間の高梁国際ホテルへの宿泊客においても外国人観光客は1割から2割ふえてきている。県においては、外国人観光客を進めるための「岡山県外人観光客受け入れ協議会」をつくっている。高梁市としてもこの協議会への加入を検討したい。

Q. 旧成羽高等学校跡地活用について方針を問う

A. 養護老人福祉施設と認定子ども園を計画している



ここを聞きました

- 旧成羽高等学校跡地活用について
- 一級河川の維持管理について
- 市管理の道路の維持管理について

黒川 旧成羽高等学校跡地の活用方針と財源内訳について問う。
市長 認定子ども園と老人ホームを統合したものを考えており、基本設計の準備をしている。また財源について、老人ホームは厚生労働省などの補助金を考えており、認定子ども園についてはほぼ見込みが立っている。
黒川 活用計画については、地元説明などを実施し、意見を聞いて前へ進んでもらいたい。
黒川 近年、異常気象による集中豪雨が発生しており、防災上、河川に堆積した土砂の取り除き工事（しゅんせつ）について岡山県へ要望しているのか問う。
産業経済部長 岡山県へは、本年度8件を要望している。
黒川 しゅんせつ工事により発生した土砂の処分は、市が対応することとなっているが、候補地等の検討はどう考えているのか。
産業経済部長 遊休農地の将来活用を視野に入れて検討したい。
黒川 過疎・高齢化が進む中で、市道の草刈りが困難となっているが、今後どのように維持管理を考えるのか。
産業経済部長 いままでどおり町内会へお願いしていく。各集落間や、広域農道については、シルバークリスタルセンターなどへお願いしている。今後は、市の支援や委託のあり方を考えていく。
黒川 町内会などへの草刈りについての増額を検討してほしい。いままですべて整備したインフラの維持管理、市民生活に重点をおいた市政をお願いする。

Q. 新図書館を核にした複合施設をどのように地域活性化に生かしていくのか、そのグランドデザインを聞く

A. 新しい魅力、ブランド力と本市の歴史や文化など古い魅力が共存した新たな魅力を創造していく



ここを聞きました

- 駅前複合施設建設を契機とした経済振興について
- 朝霧温泉「ゆ・ら・ら」と住民福祉について

駅前複合施設の公募と課題、それを契機にした経済振興への仕掛けについて
大森 自治体の根幹である図書館サービスを民間の指定管理に移行する意味について聞く。
市長 従来の図書館サービスの一層の充実と、コストを意識した運営、出会い・交流といったこれまで行政にできなかった満足度の高い魅力的なサービス・価値の提供が可能になる。今の時代に合った新しい図書館をつくっていく。
大森 新たな魅力の創造により中心市街地の活性化、急激な人口減少や若年層の流出の歯止め、呼び込みの効果が期待される。一方、ワーキングプアや人材育成など指定管理者制度のさまざまな問題がある。それらを含めて公共サービス

大森 複合施設建設を契機とした経済振興について
市長 指定管理者と協議しながら安定性、継続性を確保する。市民には丁寧な説明していく。
大森 複合施設の公募、建設をどのように地域の活性化に結びつけていくのか。
市長 新しい魅力、価値の創造を（協働を含め）地域、民間の大きなチャンスにしていきたい。
健康増進施設「ゆ・ら・ら」の新たな活用について
大森 市民福祉（青少年育成、健康増進）として活用することが公共施設としての本質（目的論的解釈）ではないのか。
政策監（公募において）住民福祉につながるよう考えていく。

Q. 高齢者が安心して暮らせる医療・介護を

A. 在宅医療介護の充実を図る



ここを聞きました

- 高齢者が安心して暮らせる医療介護について
- 本市の農業を守る施策について
- 行財政改革における公共施設の見直しについて

医療・介護総合推進法の施行に伴う影響と市の対応を問う
難波 推進法は要支援者へのホームヘルパー訪問とデイサービスを給付事業から除外するが、対応はあるのか。また利用者へのサービス低下や負担がふえるのではないのか。
健康福祉部長 今後は市の地域支援事業として行い、実情に合ったサービスができる。利用料は具体的事業内容の中で定め、利用者負担についても1割か2割かを基本として定める。
難波 特別養護老人ホーム（特養）への入所が要介護3以上となり1と2の方は入所ができなくなる。特養をふやすなど対策を求める。また介護利用料が2割となるが引き上げ分を市で負担できないか。
健康福祉部長 今後は市の地域支援事業として行い、実情に合ったサービスができる。利用料は具体的事業内容の中で定め、利用者負担についても1割か2割かを基本として定める。
健康福祉部長 長期入院の解消は必要であり、そのため在宅医療・介護の充実を図っていく。
病院事務局長 成羽病院には42床の療養型病床があり、医師の診断で必要な方は入院できる。

先進地に視察に行きました

議会活性化特別委員会 委員長 川上 博司

8月4日、5日に三重県伊賀市議会、兵庫県宝塚市議会を視察しました。
伊賀市議会の議会報告会は、毎年2月に市内38の住民自治協議会に開催の希望日時、場所、テーマを聞き、年に1度実施。開催は議会と自治協議会との共同開催で、参加者も協議会で集めている。
宝塚市議会では、常任委員会の議案審査に自由討議を導入している。常任委員会を2日間とり、論点整理や自由討議をしながら議論を深めて討論し、採決している。今回学んだことを参考にして、さらに議会活性化に取り組んでまいりたい。

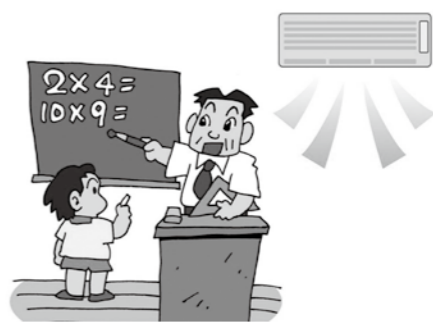


伊賀市議会視察の様子



宝塚市議会視察の様子

総務文教委員会



「平成26年度高梁市一般会計補正予算第2号」

委員 教育費の設計管理委託料は小学校9校、中学校3校の空調施設工事であるが、工事はいつごろになるのか

執行部 設計が終わってから来年度に工事を発注する予定である。

委員 今回の設計で工事にかかれば、来年の一番暑い時期にクーラーが使える状況になるのか。

執行部 前回の設計は5月に終わり工事を急ピッチで行い9月1日

になった。今回は十分間に合うと考えている。

「憲法解釈変更の閣議決定の撤回の意見書を提出するよう求める請願」

委員 我々は主権者、国民として、今世界へ戦争をする国として出て行くこととしている、そういう方向に対してきつちりと意見を言うということをぜひともする必要があるのであるのか。特に議会として市民の暮らしや命を守るという点からも平和が一番だと思う。私は採択したらいと思う。

委員 今後、法整備、予算等の国会審議の中で憲法9条に照らし合わせて適合するのか議論されていくこととなるので、その流れを見ながら判断すべきだと考える。この時点で、単に解釈の変更が行われたからということでは意見書を提出するのは時期尚早ではないかということとで、この請願に反対する。

産業経済委員会

「平成26年度高梁市一般会計補正予算第2号」

委員 有害鳥獣被害対策実施隊はいつごろ設置し、どういう編成になるのか。

執行部 9月末を目途に設置したい。編成は猟友会の方々を中心に15分会で100名程度の編成になる予定である。

委員 実施隊は猟友会を中心に編成することだが、市の職員やJAの職員に入ってもらうことはできなかったのか。

執行部 当面は知識と経験のある猟友会の皆さんを中心に実施隊を立ち上げていく。今後、迅速な対応等の課題について検証していきたい。

委員 8月末の降雨による公共土木災害について今回補正予算を組んだとしても早く工事をしないと意味がない。国の査定はいつごろになるのか。

執行部 国の査定は10月14日から16日の予定である。

委員 国の査定が終われば、すぐに工事に入れるのか。

執行部 箇所にもよるが、一昨年、昨年と災害に多く見舞われており、まだ工事に入っていないところもある。できるだけ早急に対応していく。



市民生活委員会

「平成26年度高梁市一般会計補正予算第2号」

委員 防犯カメラの設置工事についての内容はどうなっているのか。

執行部 今年7月の倉敷市内で小学校の女子が誘拐、監禁された事件を受けて、県の警察本部から県内の自治体へ要請があった。今回補正でお願いしているのは、工事請負費260万円で、市が設置するものが2台分60万円と住民団体等が設置した場合の負担金補助として10台分の200万円となっている。

委員 防犯カメラの撮影と画像の管理はどうなるのか。

執行部 設置した市や住民団体等が管理する。管理については、プライバシーのこともあるので県の詳細なガイドラインに準じた形で運用していく。



「手話言語法制定を求める意見書の提出を求める請願書」

委員 手話が言語として使われるようになっていけば、障害をもたれている方の社会参加がもっと進むと思う。

委員 この請願書の内容は妥当な内容であると考えている。法制化を求めるためにも賛成である。

決算審査特別委員会

「平成25年度高梁市各会計歳入歳出決算認定について」

委員 学園文化都市づくり事業の入学奨励金について、途中退学される場合はどうするのか。

執行部 入学奨励金については高梁市内に住むことが条件となっているので、途中退学で辞めた場合には返還させるようにしている。平成25年度は大学で1名、高校で7名となっている。

委員 住宅建設費等助成金と空き家活用モデル事業、新婚世帯の家賃補助事業について定住促進の効果がどのように現れたのか。

執行部 新築住宅の助成事業については平成21年度から制度を開始して平成24年度末まで221件の利用があった。内訳は市内が184件、市外が37件。新婚世帯の家賃補助事業については平成25年度創設したもので26件の利用があり、そのうち6件が市外から移



り住んでいる。

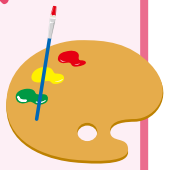
委員 平成25年度において消防設備の装備品等の高規格化を進めてきているが、消防庁舎のキャパシティが限界にきているのではないのか。

執行部 消防庁舎は車の大型化で手狭になっている。今後、後期総合計画の中で庁舎の建てかえ等の検討を行っている。

○議会を傍聴しませんか○
 本会議および委員会は公開を原則としており、傍聴ができます。実際に傍聴されれば、紙面では伝えることのできない議会や議員の生の活動がよくわかると思います。



高梁城南高等学校× 高梁市議会 コラボレート第3弾!



昔と変わらぬ趣をたたえる郷土資料館。子どもの頃、小学校の遠足で初めて訪れた記憶がよみがえります。今回の表紙を飾っていただいたのは、岡山県立高梁城南高等学校デザイン科2年生の湯浅友香さんの作品です。製作上のポイントは、屋根の線。「直線が多いのでラインに気を使いました」と話して下さいました。その言葉の通り、精緻に描かれています。

郷土資料は、高梁市の歴史と伝統の源。そのより所として大切に残していきたいものです。

気になるスポット

The spot of Takahashi



玉川橋

玉川橋 (高梁市玉川町玉・松山)

玉川橋は、1934年(昭和9年)に西日本を襲った室戸台風で流れた橋を架け直す室戸台風復興橋梁の1つとして、1936年(昭和11年)に架けられました。現在は3連のトラス橋ですが、室戸台風時にはトラス構造は1連だけで、あとは木造でした。この木造部分が台風で流され、現在の形になりました。しかし幅が狭く交通の障害となるため隣に新橋が建設され、この10月から撤去工事が始まり、再来年の春先には姿を消します。橋はなくなっても、その歴史は語り伝えたいものです。



昭和4年当時の玉川橋



竣工式の様子

編集後記

議会だよりは、少しでも多くの人に議会や市政に興味を持っていただくために、税金を使って発行しています。決して議員の自己満足で終わらないよう、日々内容を研鑽していきたいと思っていますので、もっとこうして欲しい、ここはおかしいという声をいつでもお待ちしております。次回からは委員会のメンバーが入れ替わりますが、よりよい広報紙のために怠りなく努力は継続していきたいと思っています。

(石井聡美)

編集
 議会広報調査特別委員会

- 委員長 宮田 公人
- 副委員長 宮田 好夫
- 委員 川上 博司
- 委員 森田 仲一
- 委員 石田 芳誠
- 委員 石井 聡美

☆ご意見はこちらまで
 高梁市議会事務局
 高梁市松原通2043
 ☎0866-21-0276